

発生頻度の高いクレーム事象再現 その5  
床材の特性に起因するワックスの仕上がり不良



UV塗装の性質によって2回塗りをした際に1層目がハクリされて仕上がり不良が発生した事例です。  
1層目の乾燥が不十分な状態で2回目を塗布した事によって、1回目のワックス層が侵されてしまった事が原因です。  
密着の悪いUV塗装などで発生する可能性の高い事象で、ワックスを厚めに塗布すると起こり易くなります。  
夏場でも2時間以上の乾燥が必要になるケースもあり、特に48時間以上の乾燥養生が必要になるタイプのUV塗装に発生する可能性が高い現象です。  
この場合、直ちにハクリ作業を実施し、1回塗りで作業を完了させる必要があります。

再塗装に要する費用は数万円程度